

## 臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはありません。

研究課題名	膀胱尿管逆流症に対する気膀胱を用いた腹腔鏡下Cohen法
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤 克人
研究責任者	金沢医科大学 小児外科学 安井 良僚
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2027年 3 月 31日
対象者	2019年1月～2025年12月までに当科で気膀胱を用いた腹腔鏡下Cohen法をうけられた方
当該研究の意義・目的	膀胱尿管逆流症に対する根治術として、膀胱を切開して膀胱と尿管を縫合し直すCohen法が標準術式ですが、トイレットレーニングが完了した年齢の方では術後強い膀胱の痛みや頻尿などの症状がでるのが課題でした。気膀胱を用いた鏡視下手術ではこの術後症状を軽減しうる低侵襲手術が可能ですが、高難度な手術であり、術式の詳細や術後長期の腎機能の推移等の詳細な研究報告は少なく、広く普及しているとは言えない現状です。本研究の目的は、気膀胱を用いた腹腔鏡下Cohen法の安全性や有用性を調べ、普及にむけて実施における要点を考察することが目的です
方法および研究で利用する試料・情報について	本研究は、当院の診療録から対象となる患者様の手術時年齢、膀胱尿管逆流症の患側や程度、手術時間、術中合併症、尿管ステント留置の有無、術後尿道カテーテル留置期間、入院期間、術後有熱性尿路感染症の有無を調べます。 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。またゲノムデータの解析はありません。この研究で得られたデータは大学の規定により研究発表後5年間保管され、その後適切な方法にて破棄されます。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。 金沢医科大学 小児外科学 安井 良僚 住所：石川県河北郡内灘町大学1-1 ☎：（代表）076-286-2211内線（8364）

作成日： 2026年3月1日